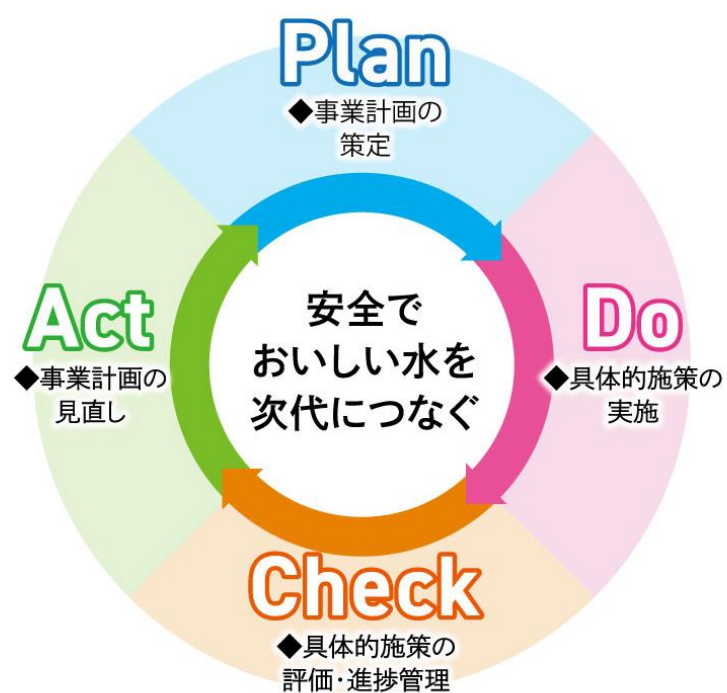


chapter 09

フォローアップ

各施策の推進には、継続的にフォローアップを行い、進捗を管理していく必要があります。フォローアップには、進捗管理の基本であるPDCAサイクルをもとに、評価・検証を行い、実施に向けた改善を図ります。特に、水需要の変化、給水人口の動向は、水道事業経営に大きく影響することから、定期的な検証を行い、次の事業計画期間に向けた目標を定めるものとします。



2 さらなる経営健全化の取組の検討

(1) 次代に向けた取組

本市の水道事業では、次代に向けた取組として、水道事業経営を安定して持続するため、「安全でおいしい水を次代につなぐ」を基本理念として令和3年に「常滑市水道事業ビジョン2030」を策定しました。今回、中間見直しをすることで引続き「連携」「挑戦」する意識・姿勢をもって、持続可能な水道事業を目指すこととして、各種施策を推進していきます。

水道事業においては、拡張から維持管理の時代へと大きな変革の過程にあり、将来に向けて持続可能な水道経営を目指すため、安全な水の提供、災害に強い水道、適正な水道料金の確保が求められています。

安定した給水収益を確保するため、今後の給水人口や水需要の動向の把握に努めるとともに、各種業務のさらなる効率化により給水原価を抑えます。また配水場・ポンプ場の更新、管路の耐震化等の将来の資産維持費を考慮して、常滑市水道料金及び下水道使用料審議会での料金改定の議論に様々な立場の方のご意見を取り入れることで、適正な水道料金体系の維持に努め、水道事業の経営基盤安定を図ります。

（２）持続可能な社会に向けた取組

SDGs（Sustainable Development Goals）は、持続可能な社会に向けた取組として、2015年（平成27年）9月の国連総会で採択されました。SDGsは、持続可能な世界を実現するために、17のゴール・169のターゲットからなり、2016年（平成28年）から2030年（令和12年）までの国際目標とされており、企業経営や強靱かつ環境にやさしい取組、働き方改革など多種多様な分野においての参画が求められています。



水道事業においては、直接的な改善指標は示されていないものの、持続可能で強靱な国土と質の高いインフラ整備、省・再生可能エネルギー、防災、気象変動対策、循環型社会の構築など関連分野は多く存在し、経営戦略における次代への取組の一つとして、官民連携や広域連携の中で、強く意識していかなければならないものと考えます。

本市においても、持続可能な社会に向けて「新たな挑戦」として取り組んでいきます。

常滑市水道事業ビジョン2030

(水道事業経営戦略)

中間見直し

令和8年9月

常滑市建設部水道課

〒479-8610 愛知県常滑市飛香台3-3-5

TEL : 0569-35-5111

FAX : 0569-35-6110

URL : <http://www.city.tokoname.aichi.jp/>

E-mail : suido@city.tokoname.lg.jp